

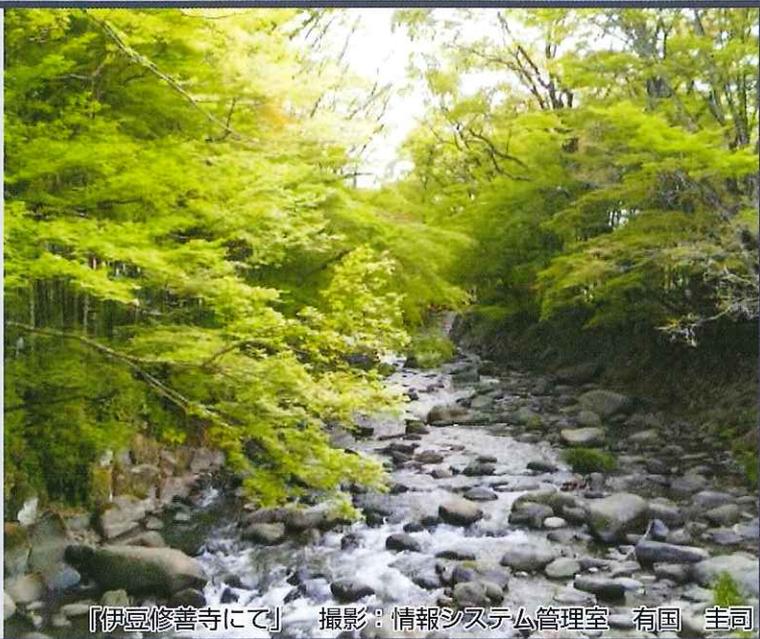
# ふれあい

2013

# 8

No.317

牛久愛和総合病院 広報誌



『伊豆修善寺にて』 撮影：情報システム管理室 有国 圭司

## 「形成外科ってどんな科？」

形成外科医長 安嶋 康治



私の専門である形成外科では、主に体の表面の疾患を扱います。見た目にその存在がわかるものが多く、それだけに精神的なストレスが生じやすいと言えるでしょう。一方で、治療の効果もはつきりと見て取れるため、治療を受けた実感が湧きやすく、「きれいに治してもらって良かった」という声を良くお聞きします。嬉しい瞬間です(笑)。

ところが、形成外科は比較的新しい分野であり、未だ知名度が低いのが現状です。「形成外科医です」と自己紹介しても、相手の方の頭の上には、なまじくが浮かんで見えることなど日常茶飯事です。悲しい瞬間です(泣)。

それでは、形成外科では一体

どのような疾患を治療しているのでしょうか？実はかなり幅広く様々な疾患を対象に治療を行っています。「どこに相談したら良いかわからない」、「そもそも病気がどうかかわからない」といった体の悩みが、実は形成外科で治療できるものだった、ということも多々あります。そこで今回は、形成外科で扱っている代表的な疾患をいくつかご紹介いたします。

三つ目は「まぶた」について。年齢を重ねると、皮膚がたるむ上に、目を開ける力が弱まり、物が見づらくなってきます。これは「眼瞼下垂症」という病名で、目を開ける筋肉を調整する手術で治療します。

この他にも多くの疾患を治療しています。やけど、顔面骨骨折、巻き爪、床ずれ(褥瘡)、先天性の形態異常、乳癌治療で失った乳房の再建等々。ひとつひとつ説明させて頂きたいところではありますが、「ふれあい」が分厚い「形成外科雑誌」になってしまっているので割愛します。

体の表面で心配な事や困った事があつたら、まずは形成外科の外来を受診してください。皆さんが普段の悩みを解決され、毎日を明るく前向きな気持ちで過ごして頂けるよう、微力ながら貢献していきたいと思っております。

二つ目は「傷跡」について。怪我や手術で出来た傷跡が引きつれたり盛り上がりたりし、痛みや痒みなどの症状が出る場合がありますが、これはれつきとした疾患のひとつで、個々の状態に合わせて様々な方法で治療します。



病院で働く人(職種紹介) ③

診療放射線技師

画像診断センター主任 柏 太地



当院の診療放射線技師は画像診断センターに所属しており、

また、磁石と電波の性質を利用して行う検査にMRIがあります。MRIは、放射線を使用しないため被曝がないことも利点として上げられます。

他施設ですと放射線科とも言われていますが、一般にレントゲンの検査を行うところです。簡単にではありますが診療放射線技師の業務内容についてご紹介させていただきます。

診療放射線技師は、患者さんの状態を考慮した上でそれぞれの検査において最良の画像提供を心がけておりますが、最良の画像を得るために最も大切なことは患者さんのご協力と云えます。検査を受けられる際は、何卒ご理解とご協力の程お願い致します。

胸部や腹部、骨の撮影において簡単かつ迅速に情報を得られる一般撮影、体内を輪切りにしたような画像や3次元画像で臓器を詳しく調べられるマルチスライスCT、消化管にバリウム

また、検査について分からないことや不安な事がございましたら、画像診断センターにお気軽にお尋ね下さい。

などを使用して撮影するX線透視、乳房を撮影するマンモグラフィ、細い管を血管内に挿入して行う血管撮影、その他患者さんの病室にお伺いして撮影するポータブル撮影など多種に渡

検査を受ける際は、何卒ご理解とご協力の程お願い致します。

また、検査について分からないことや不安な事がございましたら、画像診断センターにお気軽にお尋ね下さい。



『第38回 生活習慣病教室』

テーマ

口から食べることの幸せ

～摂食・嚥下障害看護について～

日時 9月26日(木) 14時30分から約一時間

講師 摂食・嚥下障害看護認定看護師 橋本 由美

会場 牛久愛和総合病院 B館2階 大ホール

参加費 無料

今回は、口から食べることの大切さについて認定看護師がお話します。事前予約は不要です。興味がおありの方は、お誘いあわせの上お気軽にご参加下さい。

◎お問い合わせ先

牛久愛和総合病院 総務課

電話 029-873-3111(代)



『糖尿病教室のご案内』

当院では、左記の通り糖尿病教室を開催しております。

皆さんの受講をお待ちしております。

日時 毎月第2・3・4水曜日 14時30分から

会場 C館『からだ情報館』コミュニティスペースにて

※ご予約は不要です。どなたでも受講できますので時間までに会場にお越しください。



入職者

7月1日付

■看護部

看護師 阿久津 麻美

■医事企画部

コンシェルジュ 大島 侑紀

心配りと明るい笑顔で心掛け、早く一人前になって皆さんから頼って貰える様に努力します。

正木 幸子

毎日笑顔でをモットーにしています。まわりの人も笑顔にできたらと思います。

松浦 かおり

何事にも積極的に行動し、常に前向きな姿勢で業務に取り組みたいと思っております。

7月16日付

■医事企画部

西尾 麻希

いつも笑顔で心掛けていきます。早く仕事に慣れて、みなさんのお役に立ちたいです。



# 春秋園だより

先日、第九回春秋園夏祭りが行われました。その演目で行われた、音楽クラブの発表会の模様についてお伝えしたいと思います。

音楽クラブは、一昨年に発足され、音楽の好きな利用者様に集まっていただけで、週に一回、合唱や楽器演奏、音に合わせて体を動かすなどの活動を行っています。また年に2回、当園の夏祭りやクリスマス会の場を借りて、発表会を行っています。

今回の発表会では、『青春時代を思い出そう』をテーマに、「みかんの花咲く丘」「青い山脈」「高校三年生」の曲目を行いました。衣装も、女性には三角スカート、男性は巻き、男性は学生帽を被り、雰囲気からも青春時代を味わっていただくようにしました。



学生服様の衣装を身にまとったメンバー様は、とても若々しく、「二十歳は若返ったかしら？」と笑顔で参加してくださいました。

しかし人前に出るといのは何歳になっても緊張するもので、リハーサルの際は、普段の半分も声が出ず、メンバー様の表情も硬くなっていました。二度目のリハーサルで少しずつ本来の力が発揮できるようになり、本番では大成功！で発表を終えることができました。

今回で4回目になる発表ですが、「今までの中で、一番良くできました」とのメンバー様からの声もあり、自信と達成感を一緒に味わえたことを、本当に嬉しく思います。

今後も、皆様の心と身体を元気にするような音楽活動を続けていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

(通所リハビリ)

# 夏バテ解消は食べることが一番！

栄養センター科長 管理栄養士 後藤 和代



夏バテは「慢性熱中症」ともいわれます。高温の外気・大量の発汗・胃腸の消化能力低下・食欲不振・睡眠不足などの症状が表れ、結果「慢性疲労」が引き起こされる夏特有の症状です。夏バテは、実は夏の終わりがごろからひどくなりがち。ひどい夏バテだと秋になっても体調を崩したままということにもなりかねません。しっかりと食事をとって適度な水分補給をおこなうことが一番です。

1 エネルギー切れ・疲れやすさの原因は、ビタミンB1不足

簡単に素麺だけの献立や果物・アイスが食事代わりになっていませんか？炭水化物(糖質)中心の食事では、糖質をエネルギーに代えるため必要な「ビタミンB1」をたくさん消耗してしまうこととなります。ビタミンB1は、豚肉・うなぎ・レバ

2 旬の夏野菜を食事に取り入れる

野菜も旬の季節に栄養価が高くなり、性質も季節にあつたものになります。トマト・キュウリは水分を多く含み、水分補給と自然に身体を冷やす暑さ対策の食材といえます。また、逆に

3 味付けのひと工夫で食欲を刺激

梅干・レモン・お酢などに含まれるクエン酸効力を用いさっぱりとした味付けで疲労物質を分解させ、カレー粉や唐辛子などの香辛料、ニンニク・しょうが・青じそ・みょうがなどの香味野菜で発汗作用や食欲増進を図ってみてはいかがでしょうか。

一品豪華主義の「うなぎ」や「焼肉」での夏バテ対策もよいけれど、ちよつと疲れた胃腸には負担が大きい。そんな時の予防・対策として試してみてください。



《出来事ピックアップ》

総合火災避難訓練

7/10

7月10日、A館4Fにおいて日中に洗濯機からの出火を想定した総合火災避難訓練を牛久消防署の協力により実施しました。通報・消火・避難誘導・担架搬送に加えて今回は、はしご車での避難も行い、職員がはしご車へ乗り移る瞬間は緊張感があり印象的でした。



消防署からの講評を踏まえ、病院全体として今後に活かしていきたいと思えます。(岡田)

七夕集会

7/5

7月5日、マリアホールで七夕集会を行いました。最初にブックパネルシアターを見ました。様々な星が暗闇に浮かび上がり、見ていた子ども達は拍手をして喜んでいました。次に年

**編集だより**

私事ではありますが、現在減量中で休みの日は走っていますが、なかなか痩せられません。日中は暑いので、夜に走るようにしています。食べる量も夜は減らして減量に励んでいます。目標は学生時代の痩せていたあの頃です。まだまだ暑い日が続いていますが、体調管理に注意しましょう。(K・A)

長児がちようちんを持って歩きました。ロウソクの灯りでホーリングは幻想的な雰囲気になりました。最後に、保育士による七夕物語の人形劇を見たり、ゆいまるの踊りを円になっておどり、にぎやかに会を終えました。(小田木)



**病院理念** 我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 489床 (一般434床 医療療養型55床)

施設

敷地 59,449.60㎡ 駐車場 1032台



診療科目

【一般外来】

総合診療科(内科)、消化器内科、内分泌内科、糖尿病・代謝内科、循環器科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、神経内科、リウマチ科、心療内科、小児科、総合外科、救急科、甲状腺・内分泌外科、呼吸器外科、乳腺科、消化器外科、内視鏡科、形成外科、整形外科、ペインクリニック科、産婦人科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、歯科口腔外科、透析外来(シャント外来)

【専門外来】

整形専門(股関節、脊椎、スポーツ)  
小児科(小児循環器、小児心理)  
循環器(心臓血管外科)  
皮膚科(レーザー)

日本医療機能評価機構認定病院  
医療法人社団 常仁会

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地  
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031  
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

《関連施設》

- 総合健診センター Tel 029-873-4334
- 健康増進施設 スポーツリラックス Tel 029-874-8791
- 介護老人保健施設 春秋園 Tel 029-870-3100

